

☆節目を迎える障害者福祉 「公的責任」議論されず

神奈川新聞 2016年1月9日 特報

<http://www.kanaloco.jp/article/144963>

> 障害者福祉は2016年、節目を迎える。障害者総合支援法の見直しについて社会保障審議会障害者部会の報告書が昨年12月にまとめられ、通常国会に改正案が提出される。障害者権利条約に基づく政府報告も報告書案がまとめられ、今月中にパブリックコメントに入る。これに対し障害者からは「本質的な議論がなされていない」と厳しい批判の声が上がっている。日本障害者協議会の藤井克徳代表に問題点を聞いた。

－障害者部会の報告書の評価は。

「『障害者福祉制度と介護保険制度との関係や長期的な財源確保の方策を含めた今後のあり方を見据えた議論を行うべきである』とし、障害者総合支援法の相談支援相談員と介護支援専門員（ケアマネージャー）の両方の資格を有する者の拡大など、両制度の連携の推進をうたっている。障害者福祉と介護保険の統合に門戸を開いた、足場をつくった中身になっている。障害者福祉が後退しかねないかと強い危機感を持っている。」

「両者の統合は、『障害者自立支援法違憲訴訟に係る基本合意』（10年）、『障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言』（骨格提言、11年）という二つの公的文書で否定されたはずだが、新たに真逆の公文書が生まれてしまった」

－障害者の生存権を保障するため、生活保護と同様に国の義務として税金で対応する

障害者福祉と保険料を払ってサービスを受ける介護保険では本質的に異なる制度のはず

「部会の議論では、福祉とは何か、公的責任は何かという本質的な問題が抜け落ち、薄っぺらな財源問題だけの話になってしまった。税制制度等審議会の注文を受け、給付の抑制で一貫した。財政問題は重要だが、人権の原理原則を議論した上で検討しなければならない。それがなされなかった」

「そのため、精神障害者の社会的入院の問題、所得保障、家族依存の問題など、重大な人権問題が残されたままになった。本質的な議論をせず、報告書は支援法の微修正を、取り繕った内容だ」

－障害者福祉の将来については骨格提言という合意があり、工程表も示されている。

総合支援法見直しも、その成果だった。障害者団体は一致した取り組みをすべきだったのでは。

「委員の人は厚生労働省。その基本方向に従う結論ありきの議論だった。事務局の官僚が報告書を書く旧態依然たる審議会のパターンに戻ってしまった。障害者団体にも危機感の薄さが見られる。今後、国会議員への働き掛けなど、当事者や障害者団体、NPOなどの運動の力量が試されている」

－障害者権利条約の政府報告書案の評価は。現行制度の説明文という印象だ。

「国連は政府報告書について、条約批准後にとった措置、それによる変化、問題点と欠陥などを正直に報告するように求め、その際には障害者団体を含む非政府機関の意見を聞くなどを求めている。しかし、どこから見ても、そうになっていない。法と実態のギャップに触れず、外交体裁を繕っている印象。まるで現状のままでいいと言わんばかりだ。政府報告書案は、日本にとって障害者福祉に関する初の国際文書だが、歴史的な汚点になりかねない」

—政府報告書には障害者政策委員会の理論の概要が添付されたが、

本文には一部が引用されただけだ。

「政策委員会は、あくまで政府機関の一部。民間の障害者団体の参加は一切なかった。さらに、政策委員会委員の発言でさえ、正確に取り込まれていない。」

「厚生労働省も本当は現在の障害者福祉は不十分だと思っているはずだ。精神障害者の社会的入院の問題など、何十年も進展していない問題もある。問題を国際化し障害者権利条約という世界ルールで見直すことで、国民の理解や予算の裏打ちを得るなど、状況を好転させる契機にすべきだ。」

—今後、パブリックコメントが行われる。

「パブリックコメントでは、当事者や障害者団体の意見を反映させる取り組みをしたい。さらに、政府報告書と対等に扱われる民間のパラレルレポートの作成にも取り組んでいく。障害者団体については、主な障害者団体が加盟している日本障害フォーラムで集約し一本化できればと思う。日弁連の報告書との関係は今後調整する」

—社会保障費の削減が叫ばれる中、障害者福祉、障害者運動の役割は。

「日本の障害者福祉は異常に低い地点からスタートした。経済協力開発機構（OECD）諸国との比較でも圧倒的に遅れている。予算が増えてきたといっても実感はない。障害年金では暮らしを維持できず、家族依存を前提とした名ばかりの地域生活が圧倒的に多い」

「最も厳しい状況にある障害者にはセーフティネット、人権の基準値を維持する責任がある。障害者が切り捨てられたら、弱者切り捨ての連鎖が始まる。日本が薄っぺらい国家になってしまう。財政問題も人権をベースに総合的な議論をし、国民的合意をつくっていきたい。」

*** 社会保障審議会報告書、統合論に理解示す**

障害者総合支援法の施行3年後の見直しを行っていた社会保障審議会障害者部会（部会長・駒村康平慶大教授）は昨年12月に報告書をまとめた。

障害福祉制度と介護保険制度の関係について、「今後の在り方を見据えた議論を行うべき」としたほか、65歳以上の介護保険優先原則も「維持することは一定の合理性がある」などとし、両制度統合論に理解を示す表現になっている。

精神障害者の地域移行では、ピアサポート人材の養成などを提言したものの、難題である住宅確保については新たな打開策の提言はなかった。所得保障と福祉的就労の在り方についても、現行の枠組みの中での改善を求めた。

その他、1人暮らしを希望する障害者を支えるため、自宅を定期的に訪問し食事や健康管理の状況を見守るサービスを設けることを提言、たんの吸引など医療的ケアが必要な子ども「医療的ケア児」を制度に明確に位置付け、必要な支援を推進すべきとした。

*** 権利条約政府報告書案、打開策の記述なく**

障害者権利条約は、批准2年以内に国連に政府報告書を提出することを義務付けている。昨年末まとまった報告書案は日本文で65ページで、権利条約の条文ごとに省庁が報告するスタイルになっている。

例えば第28条「相当な生活水準及び社会的な保障」については、「障害者基本法は、国及び地方公共団体に対し、障害者の自立及び生活の安定に資するため、年金、手当等の制度に関し必要な施策を講じることを義務付けている…」(内閣府)などと記載。障害年金だけでは生活できない現状や、打開策の検討状況の記述はない。

報告書案には、障害者、障害者団体代表、識者らで構成する内閣府の障害者政策委員会(委員長・石川准静岡県立大学教授)が、生活支援など9分野についてまとめた報告を添付した。ただし、本文では「政策委員会より、次のような指摘がなされている」という形式で、ごく一部をしたにとどまった。

政府は今月中にパブリックコメント(1カ月間)に入り、4月にも国連障害者権利委員会に提出したいとしている。

…などと伝えています。

※関連で……

①☆障害者権利条約生かせ 京都 自立支援法10年を検証

1/14付しんぶん赤旗 近畿のページより(電子版がないのでPDFで紙面を)

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20160114-akahata.pdf>

> 障害者自立支援法成立・施行の10年を検証するセミナーが10日、京都市中京区で開かれ、180人が参加しました。主催は「障害者自立支援法に異議あり! 応益負担反対実行委員会」…などと伝えています。

△1月10日(日) ハートピア京都 3階大会議室で開催された。

セミナー:”障害者自立支援法成立・施行の10年を検証する”

「障害者自立支援法の10年、障害者権利条約批准後の障害者福祉」

*開催案内チラシ



<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20160110-kyotosinpo.pdf>

<当日FBで会場からお伝えしたものに画像も含め少し加筆しました。>

> セミナー「障害者自立支援法成立・施行の10年を検証する」の後半スタートしましたよ。藤井克徳さん(JD代表、きょうされん専務理事)の記念講演はじまりました。『障害者自立支援法から10年 障害者権利条約批准の障害者政策の課題 障害者権利条約と基本合意を高々と、問われる運動の底力』と題して。

はじめに、①日本の障害者政策の水準をどうみるか、

②障害者自立支援法の本質と訴訟運動の意義、

③障害者権利条約の価値と関連動向、④批准をうけての障害者政策の課題、

⑤権利条約の真逆の政府の政策意義、⑥平和な社会で映える権利条約、

⑦問われる運動の底力、⑧むすび など(講演レジメ大きな項目より)

*講演のレジメです。

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20160110-fujii-koen-kyoto.pdf>

解りやすく丁寧に2016年のスタートにぴったりのお話しをされました。

<藤井さん有難うございました。>

各地から150名を超える参加者に。

(京都府下だけでなく、奈良、大阪、岐阜などからも参加者が)

フロアーから自由発言(障害者分野に限らず午前・午後で12名の皆さんから多彩な分野、立場から発言されました。)

藤井さんの講演で…ドイツを訪問されての感想(句)が凄く印象に残りましたので。

- ・地下室の ガス管跡 指で観る 恨みのうめき 心耳澄ませば
 - ・ガス施設 脇の大木 何を見ん すべてを見通し 語るはいつぞ
- ……関連で、

△△視覚障害ナビ・ラジオ | NHK 福祉ポータル ハートネット 2015年12月27日

放送内容 今月のトピックス

<http://www.nhk.or.jp/heart-net/shikaku/list/20151227.html>

- > ・音で注意を促す装置の使用義務化、条例が成立(徳島県)
- ・盲ろう者ニューリーダー研修会、開催される(談話:福島智さん)
- ・障害者総合支援法見直し、報告書まとまる。

【ミニ特集:辻井伸行、演奏活動を語る】

【宇野和博のコレってどうなの!? ~藤井克徳さんに聞く「障害者と戦争」~】

>> 今年は戦後70年。改めて戦争について考える年だった。その締めくくりとして、「障害者と戦争」についてJD代表の藤井克徳さんにお話を伺う。藤井さんは今年、特別な思いを持って、2回、ドイツを訪れたという。第二次世界大戦中、ドイツで20万人以上の障害者が虐殺されたこと、また、ヒトラー政権下で障害のあるユダヤ人を救うために活躍したオットー・ヴァイトという人物について調べるためだ。障害者の虐殺はなぜおこったのか、そして、ユダヤ人の障害者を救うために活躍したオットー・ヴァイトはどういう人だったのか。その過去から、私たちは何を学ぶべきか、藤井さんに詳しく聞く。

…などが放送されました。

△△*ハートネットTV+シリーズ戦後70年 福祉トーク「ぼくらのこれから」

12月13日放送(12月28日再放送)

<http://www.nhk.or.jp/hearttv-blog/3500/233332.html>

*障害者と戦争 《ナチスから迫害された障害者たち》

(1) 20万人の大虐殺はなぜ起きたのか(2015年8月25日放送)

<http://www.nhk.or.jp/heart-net/tv/calendar/2015-08/25.html>

(2) ある視覚障害者の抵抗(2015年8月26日放送)

<http://www.nhk.or.jp/heart-net/tv/calendar/2015-08/26.html>

(3) ナチスの障害者虐殺 —いま何を学ぶべきか—(2015年9月15日放送)

<http://www.nhk.or.jp/heart-net/tv/calendar/2015-09/15.html>

△△それはホロコーストの"リハーサル"だった ~障害者虐殺70年目の真実~

E TV特集 2015年11月7日(土)

<http://www.nhk.or.jp/etv21c/archive/151107.html>

…なども放送された一部もビデオで会場で紹介されました。

②☆日本障害者協議会理事 日本社会事業大学特任教授 佐藤久夫さんに聞く
障害者権利条約「政府報告案」生活実態ほとんど示さず

しんぶん赤旗 1 / 1 2 付 (電子版がないので紙面をPDFで)

<http://www.mcnet.or.jp/download/pdfdata/20160112-akahata.pdf>

> 日本政府は2014年1月、障害者権利条約を批准しました。2月には、国連・障害者権利条約委員会に1回目の締約国報告を提出しなければなりません。昨年9月、外務省が作成した報告書案をどうみるか、日本障害者協議会理事で日本社会事業大学の佐藤久夫特任教授に聞きました。

…などと伝えています。

△内閣府 第28回 障害者政策委員会 ←平成27年12月18日開催

http://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/seisaku_iinkai/k_28/index.html

> ・障害者権利条約に基づく第1回政府報告案について

…論議され、その報告書案も資料で掲載されています。

*資料1-2 障害者の権利に関する条約第1回日本政府報告(案)(日本語仮訳)

http://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/seisaku_iinkai/k_28/pdf/s1-2.pdf

…以下、関連で

△障害者権利条約の実施状況は 来年2月までに国連へ報告

福祉新聞WEB 2015年04月07日

<http://www.fukushishimbun.co.jp/topics/8700>

△障害者の権利に関する条約(略称:障害者権利条約)

外務省 平成28年1月8日

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/jinken/index_shogaisha.html

▽障害者権利条約の平行レポートに関する資料/日本障害者協議会(JD)2016.1.12 現在

<http://www.nginet.or.jp/jdprp/>

▽わかる!国際情勢>Vol.109

「障害当事者の声の実を結ぶとき~障害者権利条約の締結

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/pr/wakaru/topics/vol109/>

▽国連・障害者権利条約を考える - 全国障害者問題研究会

<http://www.nginet.or.jp/box/UN/UN.html>

▽国連障害者の権利条約

<http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/rights/right.html>

▽DPI女性障害者ネットワーク

<http://dpiwomennet.choumusubi.com/>